

# 第1回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 22 年 5 月 26 日（水） 午後 6 時 30 分～8 時 30 分  
場 所 吉祥寺図書館 2階集会室  
出席委員 糸賀雅児 太田早苗 桂 まに子 小林真理 竹田照子  
船崎 尚 増澤 強 松山 巖 三輪一雄 毛利和弘

## 会議次第

### 1 開会

武蔵野市図書館基本計画策定委員会同様、委員長は船崎尚氏、職務代理者には糸賀雅児氏にお願いをした。

### 2 教育部長あいさつ

### 3 新任職員あいさつ

### 4 図書館基本計画の報告

### 5 議題

#### ①図書館の運営について

事務局より配布資料に基づき平成 22 年度に実施・検討等を行う予定の 39 事業について説明を行った。

委員長 今回の説明に対しご質問はありませんか。

委員 議論に入る前に、まずこの図書館運営委員会の位置づけや、何が出来るのか、誰に対して意見を言えるのかというような状況説明をお願いします。この委員会の設置根拠からご説明頂きたいと思います。

事務局 この委員会の設置根拠は武蔵野市図書館運営委員会設置要綱になります。昨年度は開催をしませんでしたが、皆様には昨年度当初から図書館基本計画策定委員と図書館運営委員を兼ねる形をお願いしておりました。また、一昨年開催しました第 3 期図書館運営委員会では、昨年策定された図書館基本計画の基となる、図書館のあり方について議論をお願いし、報告を頂きました。

委員 要綱による設置ですと教育委員会の承認を得ているということですね。また、この要綱には選書部会を設置できるとありますが、設置しないのですか。

事務局 今期は任期 2 年のうち前半で図書館基本計画策定委員会としての計画策定をお願いしておりますので、後半にあたる今年度は運営委員会だけを予定しております。

委員 この運営委員会では図書館サービスについて協議する、図書館基本計画 63 頁にある評価を行うということですね。

事務局 はい、評価については内部でも行ったうえで各事業の進捗状況を次回以降に報告いたします。

委員 この配布資料と説明からでは、今年度はこういうことをやりますというだけ

なので、「ではがんばって下さい。」としか言えません。また、マークの無い事業は何もやらないのかと疑問に思います。そして事業によっては単年度では出来ないものもあるわけで、この事業は3年で、あるいは5年でここまでやります、最終的に10年で全部やりますというようなものもご提示願います。中長期的な計画もないと最終的に実行されるか判断できません。

事務局 ご指摘のとおりでした。この資料は今年度行う予定事業とお考え頂ければと思います。また、無印でも検討を始める事業ももちろんあります。

委員 10年計画というのは随分長いと感じます。将来予測できるのは5年位までだと思いますので、5年間での実現を目指してはと思います。10年後では今ある問題点そのものが変わってしまう場合がありますし、全くやらない事業が出てくる心配があります。

委員長 市の長期計画なども10年単位ですが、途中で見直しを行っています。やはり5年位経ちますと、いらぬものが出てきたり方向性が変わったりするため、途中で見直しをする手法を採っています。

委員 10年計画でも5年で見直しをするなら良いと思います。ただ、目標水準を出して、数量的なものでも表すようにして欲しいものです。数値化するのが無理なものもあるが、例えば目標水準は80%だが今年度は20%まで達成、次年度は40%まで達成したというように数値として出せるものは出して頂きたい。事業名「一般的な資料の継続的な購入」は毎年行われるものなので、具体的に何をしたかが分かるような内容表現に変えないと評価はできません。

委員 ◎が付いた事業は優先事業となるわけですが、選ばれた根拠・理由を教えてください。優先順位をつけた経過が全く見えません。

事務局 電算システムの入替は今年度の市の主要事業にもなっています。継続しているものは○ですが、サービス強化が可能であれば◎をつけています。

委員 電算システム入替については理解できましたが、他は今行っていることに○を付けただけのように感じます。せっかく図書館基本計画を作ったのにそれを実行しようとする気持ちが感じられませんし、計画がどう活かされていくのか、10年後には量的にも質的にもきちんと達成できるかが見えてきません。

事務局 基本計画の中にも「計画の評価」とあり、事業実行についても評価方法についても今年度に検討すべきだと思っています。

委員 基本計画を10年間でどう取り組むのか、図書館の皆さんで検討して頂くよう要望します。

委員 この一年で22年度を評価するということですが、例えば人材育成の場合、まず検討会議を行い、具体的な中身を作り目標設定をしないと評価は出来ません。1年間を四半期・半年と分け各プランを作り、会議回数なども含めてどういったことを行ったか落とし込まないと、評価は難しいと思います。

事務局 今後の進捗状況報告の中で目標値を出し、計画の中にも目標値を盛り込みたいと思います。会議数や冊数といった数値も加え、出来るだけ判りやすくし

ていきたいと思います。

委員 ○印が付いていない事業が目立ちます。どれも新規事業になるわけですから、当初の 5 年でどうする予定なのか見通しを知りたいです。資料収集は継続ですが、〔23〕 地域特性や施設規模を生かした選書・〔39〕 地域特性に応じた資料の収集などは無印で、これから考えるということなののでしょうか。

委員 各図書館に特色を持たせるために中央図書館での郷土資料収集が上げられ、また武蔵野プレイスで所蔵予定のアーカイブなどは 2000 点位になるのですが、そもそも郷土資料は必要なののでしょうか。外のものを知ることでも内側が見えてくるように思いますが、武蔵野市民は外へ出て行かない人が多いので郷土を気にしていないように思います。市民は郷土資料を必要としていないのではないのでしょうか。

委員 郷土資料を市民が必要ないと思っているとしたら、とても残念に思います。自分が住む地域の特性を考えるきっかけを与えてくれると思います。

委員 お茶の名産地である京都の宇治市では、学校の蛇口からお茶が出てくるようですが、そういう状況はとても凄いとします。でも郷土資料の収集はあまり必要ないように思います。

委員 一般市民には関心が低くあまり使われないのかもしれませんが、研究者が資料として必要とすることもあります。郷土資料には行政資料も含まれますし、出来る限りきちんとした収集保存を望みます。

委員 地域資料はその地域が保存するという役割分担があると思います。地域資料はその地域の図書館へ行けば揃えてあるとしておくのが義務であると思います。

委員 DVD 貸出は民業圧迫になりませんか。なぜ図書館で行う必要があるのでしょうか。以前のように DVD がとても高価で入手が難しかった頃なら必要でしょうが、今は民間のレンタル業者が有料とはいえ貸出をしています。事業の中で優先順位が上位にあるのはなぜでしょうか。

委員 利用者の視点から発言しますが、民間のレンタル DVD は娯楽映画などが中心で、落語全集・歌舞伎全集・スポーツ講座といった教養ものがあまりありません。逆に図書館には、民間には無い分野や、すでに処分されてしまった古い作品が保管されていることがあり住み分けがされていて利用者からの需要は高いと思います。教養ものなど高価で一般の人が購入しづらいものを図書館のニーズに合わせて用意していけば良いと思います。

委員 娯楽映画ではなく教養学的なものを収集し、民業との住み分けをしていけば良いと思います。

委員 そうあって欲しいものですが、では選定する際の基準は実際のところ何でしょうか。

事務局 図書館用映像資料は著作権の許可が必要なため、通常販売品よりも高価で作品数が限られています。現在、ビデオ貸出をしています、近年ビデオの販売

売数が減少し、取扱いがなくなってきました。逆にDVDは販売作品数が増え、図書館の所蔵数もここ数年で増やすことができました。内容は名作映画や落語全集、美術・工芸案内などですが、やはり高価なため図書のように複本はなく1点のみ購入しています。

委員 DVDの議論に入るまでは、コストを考える視点が無く、とてもお役所的な感覚だと思っていました。郷土資料などコストがかからない場合もあるでしょうが、必ずコストは発生し費用対効果を考える必要が出てきます。DVD収集が市民の知的ニーズの何を充実させたいのかと考えるとき、その目標達成の方法は他に無いのかも考え、例えばイベント開催の方が効果的であれば、そちらに変更するといった柔軟な事業の組替えが必要になります。配布資料からはそういったことは読み取れません。〔53〕学校連携用の資料の充実・〔54〕学校図書館との各種ネットワークの構築は学校連携として重要だと思うが、具体的な手段が示されていません。〔98〕外国人向けサービスの拡充も方法を限定してしまうのでは、硬直した事業の立て方になってしまいます。

事務局 配布資料には基本計画にあるものを載せましたが、それ以外の事業ももちろんあります。例えば市内小学校で以前から行っている読書の動機付け指導事業などは載せていません。

委員 そういう事業に対する評価は行わないのですか。

事務局 まずは基本計画に記載された事業に対する評価をと考えています。

委員 実際には他の部分も入れていかないと評価は難しいと思います。この資料からではタイムスパンも数値もなく、表向きはやったことになったとしても、どこまで達成できたか判断できず本当の意味の評価に繋がらないと思います。

事務局 図書館サービス評価では全ての事業を含めて考える形になると思います。

委員 外部評価をするとありますが、外部というのはこの図書館運営委員会をさすのですか。また図書館サービス評価と事業進捗評価を組み合わせないと評価行為は難しいと思います。

事務局 事業進捗評価については基本的に図書館内部で行い、図書館サービス評価についてはこの委員会を外部評価の場のひとつと考えています。サービス評価については文部科学省から出される評価基準などを参考にしながら手法を考えたいと思っています。

委員 評価を行うということですが、今後の開催予定を教えてください。

事務局 今年度中に4回開催する予定です。次回では数値目標や図書館サービス評価との関係をお示ししたいと思います。

委員 評価をする場合、貸出サービスはどこへ結びつくのでしょうか。逆にレファレンスサービスはいろいろな事業に繋がると思います。先ほどお話のDVD貸出も単独で評価するのは難しく、こういう目的があり利用者にはこのように役立つ、またコストとの関係も含めて考える必要があります。一人のために役立つからといって1枚100万円のDVD購入は良いとは言えませ

ん。事業単独ではなく目標との関連や数値・コストなども組み合わせて判断できるよう、次回は準備をきちんとして頂きたいと思います。

委員 昨年の会議で、例えば夏休みには化石の展示を行いたいとご提案しましたが、やらせて頂けるのでしょうか。

事務局 現在も夏休み期間に行う「こどもまつり」では講座のテーマに関連した展示を行っています。また、〔90〕実体験を通じた学びのための講座等の開催では実体験ができる講座の開催と入れています。

委員 常設展示へのお考えと〔90〕実体験を通じた学びのための講座等の開催が◎ではない点を説明願います。

事務局 スペースの問題もありますし、図書に関連した展示を考えていますので、トピックスとタイアップさせる、または本プラスαでの展示を検討してみたいと思います。〔90〕実体験を通じた学びのための講座等の開催は2年間での検討予定です。

委員 〔32〕学校教育を支援する資料の収集・整備については学校行事という目的がはっきりしています。〔53〕学校連携用の資料の充実では、高価な本を複数用意してもらっているようだが、本校では朝読書を行っているので通常の本も必要です。図書館だけではなく、他校がどういった本を持っているかを知ることができ相互に貸出できればと思います。事業ネットワーク作りに含まれるのでしょうか。

事務局 学校との連携には昨年度から力を入れています。検討委員会を立ち上げ、報告書を提出しました。学校により図書室への力の入れ方は差がありますが、全体としては図書室サポーターが設置され、熱心に活動されている印象を持っています。先生方もお忙しく、今年度の会議は1回だけですが、ご意見を図書の購入に反映させる予定です。また、これまでは学校連携用の専用本を用意していましたが、予算も少なく限られたものになってしまうため、一般図書も貸出できるように変更しました。各学校がどういう資料を持っているかという調査はまだ行っていませんが、学校間システムは指導課で検討が行われています。

委員 データ化されていない本は図書室外のスペースや教室などにもたくさんあります。

事務局 検討会議の席では、学校間の相互貸出まではまだ必要ないといったご意見も出ておりましたので、まずは図書館から各学校へ貸出をするためのシステム作りをしました。

委員 朝読書は一般的になって来ましたが、市内中学校で通年朝読書を行っているのは本校だけだと思います。全体として中学生の読書量は少ないと感じています。

委員 読書量について判る資料はありませんか。

事務局 〔53〕学校連携用の資料の充実の中で作れるかもしれません。

- 委員 図書室利用の他、家での読書量、図書館の利用状況はどうか知りたいと思っています。
- 事務局 子ども読書推進活動計画を策定する中で調査を行う予定になっていますが、個別ではなく学校のクラス単位での調査を考えています。その際にご協力をお願い致します。
- 委員 さいたま市、市川市、荒川区などでは、学校図書室支援センターを開設し学校への配送だけではなく、学校司書の研修を行うなど学校図書室を支援している自治体もあります。こういった施設の設立についても研究、検討頂ければと思います。
- 事務局 当市の場合、学校配送については予算要求をしましたが認められませんでした。
- 委員 それはこういった費用なのですか。配送用車両の購入ですか。
- 事務局 配送委託で要求しましたが認められず、現在は別の方法で配送しています。
- 委員 図書室サポーターというのは有償ですか。また、配送等を図書館ボランティアにお願いできないのでしょうか。
- 事務局 学校図書室に配置されている図書室サポーターは有償です。現在の図書館にいらっしゃるボランティアとしては障害者サービスを担う無償ボランティアの方々がいますが、配送をやって頂くようなボランティアの方はいません。
- 委員 給食車に本を乗せ配本を行っている自治体もあります。様々な方法が考えられますし、工夫が必要です。
- 委員 西部図書館は閉館後どうなるのでしょうか。
- 事務局 企画調整課での検討事項となっております。
- 委員 無印の事業について、そのまま埋もれてしまいそうで心配です。昨年意見を出した返却ポスト設置なども無印で、優先事業にならないのはなぜでしょうか。
- 事務局 重要でないということではありません。これまでの経過から早急な設置が難しいため無印としています。実現に向けては回収方法などの検討も必要で、実施時期を明確に答えられない状況です。頂いたご意見のほか、利用者からも要望を頂いておりますので検討しないということではありません。
- 委員 実施決定しているものよりも、検討する事業の方が大事だと思います。この資料からは具体的な部分が見えてきません。
- 委員 今後の運営委員会開催時には、あらかじめ何を検討すべきか事前に判ると良いと思います。より建設的な検討ができると思います。
- 事務局 今回は資料内容の見直しとともに、あらかじめ送付させていただきます。
- 委員 施策③図書館業務システムの再構築は◎となっておりますが、利用者としての要望は聞いていただけるのでしょうか。システムの中で検索というのは、図書館との接点として大切だと思いますが、今の検索機能はとても使いづらく、こういった検索システムをわかっている人であっても使いづらいと思います。

パブリックコメントで出された意見は一蹴されてしまったため、この委員会で発言しました。今ある機能にも意味があっそうなっているのだろうと想像はできますし、コストの問題、技術的問題等も理解できますが、改善要望を出すことは可能でしょうか。

事務局 今回のシステム入替では現システム稼動中に寄せられたご意見を反映させたいと思っています。また、5年前のシステムを最新のものに入替ることで、解消される部分も多くあると思います。仕様確認が始まっていますが、業務側だけでなく利用者側の使いやすさも検討しています。

委員 評価が重要ということであれば、〔63〕子ども読書活動推進計画の策定、〔64〕児童資料の継続的な収集・整備、〔65〕ヤングアダルト資料の継続的な収集・整備などの図書館サービス評価をやらないと図書館計画の評価はわからないと思います。次回は各事業の目標値を設定し目標到達状況を事前を送付頂きたいと思います。次回が9月であれば、前年度実績が出ていると思うので、前年度から今年度への変化も示して下さい。

委員 最後に確認ですが、図書館計画 64 頁と概要版にある評価イメージ図ですが、「第三者評価委員」とあるのは「外部評価委員」の間違いではないでしょうか。本文では修正されていますが、図表上はそのままですので確認して頂きたい。

事務局 申し訳ありませんでした。訂正させていただきます。

## ②その他

次回日程は、9月9日（木）午後6時30分から吉祥寺図書館2階集会室と決まった。